

リビューカメラの取り付けかた

取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、次の例を参照して取付位置を決めてください。

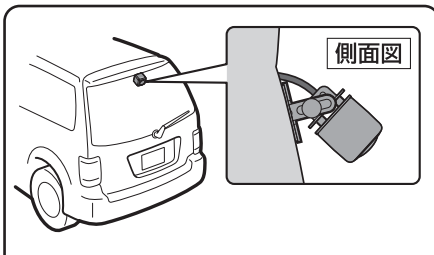
* 道路運送車両の保安基準 別添 20 外装の技術基準
最新の保安基準は、国土交通省の Web サイトをご確認ください。

正しい取り付け例



取付位置の車両突起後端の内側に、カメラ基部が入るように取り付けてください。

誤った取り付け例



保安基準に適合しないため、車両に隠れない位置には取り付けしないでください。

取り付ける前に

- 接着面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭きとり、完全に乾いた状態にしてください。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、ドライヤーなどで接着面を温めてください。
- 取り付け後 24 時間以内に、雨にぬらしたり、水をかけたり、引っ張ったり、無理な力を加えたりしないでください。

市販のテープなどでカメラを仮止めして、取り付け位置を決めてください。

- 必要な範囲が見える取り付け位置を、仮接続したモニターの表示で確認してください。
- 車幅に対してできるだけ中央付近に、車両ナンバーを隠さないようにカメラを取り付けてください。
- 貼り直しは粘着力が低下しますので、絶対におやめください。
- 両面テープの接着面に触れないでください。粘着力が低下します。

お知らせ

- フッ素樹脂処理された（水滴や泥水などはじく）塗装面やガラス面、再塗装された面には貼り付けられません。

カメラの視野範囲



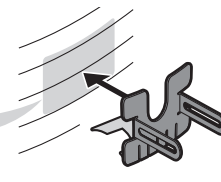
1 カメラブラケットを車体に取り付ける。

- ① 取り付ける面に合わせて変形させる。
- ② 裏紙をはがしてしっかり密着させる。

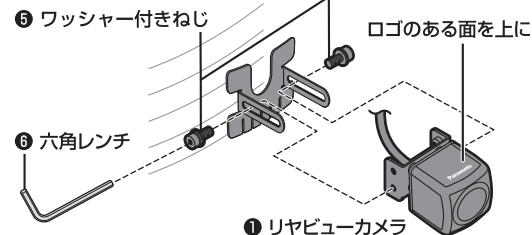
④ カメラブラケット
(裏紙をはがさない)



- 接着面に手を触れないでください。
- 貼りなおさないでください。



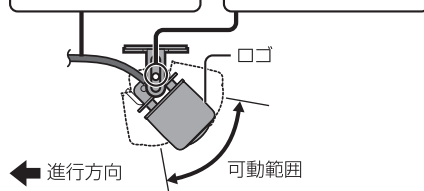
2 カメラをカメラブラケットに取り付ける。



取り付ける位置により、使用するねじ穴およびコードを引き出す方向が異なります。

■ 上面に取り付ける場合

- コードを折り曲げないように引き出す。
- 角度を調整しやすい側のねじ穴に取り付ける。

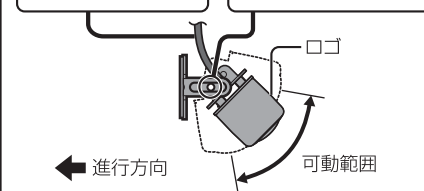


- 上下の位置を調整できます。



■ 側面に取り付ける場合

- コードを折り曲げないように引き出す。
- 角度を調整しやすい側のねじ穴に取り付ける。

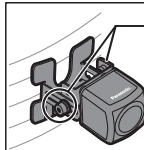


- 前後の位置を調整できます。



3 バンパーまたは車両後端部がモニターの下端に映るようにカメラの角度を調整する。

カメラの角度を調整するときは、必ず、ねじを緩めた状態で行ってください。ねじが締まったまま角度を調整すると、カメラの破損や防水性が劣化する原因となります。



バンパーまたは車両後端部

4 角度調整後、ねじをしっかりと締めてカメラを固定する。

